

普及現地情報

発信年月日：令和元年(2019年)5月22日
所属名：湖北農産普及課
番号：G19004
部門分類：150(野菜)
340(病害虫・雑草・鳥獣害)
発信者名：辻村、川村(藤)、國島

タマネギの収穫に向けた病害虫防除の研修会を開催

5月10日、JAレーク伊吹経済センター(長浜市加田町)でタマネギの肥大期における病害虫防除研修会が開催され、タマネギ生産者15名が出席されました。

現在、JAレーク伊吹管内では、14haで水田にタマネギが作付されており、これまで当課ではJAレーク伊吹と連携し、前年秋の定植以降、タマネギ生産者を対象に追肥、雑草管理、病害虫防除といった一連の作業について研修会を開催しており、今回、収穫前最後の防除研修会となりました。

今回は「りん片腐敗病」に焦点を絞って説明をしました。今年、JAレーク伊吹管内のタマネギは生育良好で、早いところでは球径が6~7cmに肥大しています。一方、「りん片腐敗病」が多数のほ場で発生し始め、問題となっています。本病は症状が進行すると、りん茎(タマネギの球)内部にも病徴が進行し、腐敗します。

当課から、今後の管理について、被害株の抜き取りや薬剤の定期的なローテーション散布による防除を呼びかけ、しっかりと収穫できるよう注意喚起しました。JAレーク伊吹から被害株の病徴について説明され、出席した生産者は注意深く病徴を確認し、抜き取り作業の実践について理解を深められました。

今年度はレーク伊吹が新設された乾燥調製施設で初めての収穫・出荷となります。当課はタマネギの収穫に向けて引き続き現地巡回を行い、防除等について指導するとともに、今後もJAレーク伊吹と連携して高品質なタマネギの生産に向けて支援します。



研修会の様子